

おはなし交流 Vol.2

館報編集委員×公民館関係職員

横山について語ろう

私が知ってる横山

あなたが感じる横山
自分の住まいについて
考えてみる時間

※前号(229号)の続きです。

未来／展望

- ・横山地区の文化の継承
- ・高齢者も豊かに暮らせる地域
- ・リニア開通後の街並みに期待
- ・若い人たちが参加しやすい地域活動の展開
- ・将来像をみんなで考え明確にする
- ・子育て世代の考えを地域に生かす

松上「横山がどういう街だったか住みたいですか？」

太田「きれいな街に住みたい。道路がきれいだったたり、お花がいっぱい植えられていたりすると、きれいだなと思います。16号沿いにも咲いてますよね。きれいではないですけど、自分もやってみようと思うようになる」

松上「お花があるって具体的でわかりやすい。他には何かありますか？」こがもう少しこうしたら良いとか」

高橋「ここは車社会で交通の便が悪いんですよね。近くなのに一旦バスで駅に行くと、そこらまたバスに乗らないといけない」

長谷川「昔コミュニティバスを走らせようかというのもあったけど実現しなかったね」



太田「付箋にもあるように小田急線延伸の話は期待できすよね。でもこの話、一時期ストップしてましたよね」

長谷川「現在も運動はしてますよ。決定はしてないですけど、結構話が進んだと言われて要望はしていますよね」

太田「交通の便が良くなると人も集まるだろうし、街並みの変化にも期待できますね」

高橋「期待のところで言いますと、私は公民館で単発ではなくて継続的な催しがあるといいなと思う。私はやったことないけど、麻雀って物忘れ防止にすごく良いらしいですよ」

太田「将棋は意外と子どもにも人気ですよ。公民館を通りかかるとおじさんやおばさん、お兄さんお姉さんがいて、いつも何かやってると、人も集まるし楽しいですよ」

松上「やっぱり引く張っていく人が必要ということですね」

長谷川「リーダーですよ。みんな意見や思いはあるのだから、またこういう機会を作って、ぜひ色々話し合いたいですよ」



今回参加された方々の感想を聞いてみましょう！



座談会を振り返って

今回の座談会は、横山について世代の異なる方々と話し合う事に、その意義があった。生まれが異なるので、自然環境や習慣・文化が違う。

横山地区は、横山丘陵地帯を中心に開発が進められてきた経緯がある。私には、各自治会自慢の神輿パレードで榎神社に集まる「横山ふるさとまつり」が懐かしい。当時の光景を思い出すだけでわくわくしてくる。今後の横山の未来は、小田急線乗り入れの実現が大きな変貌を遂げる礎のように思い、その実現に期待する。

館長 長谷川

自治会連合会より一言申し上げます。

・地域の良い点や課題について委員から出された意見がかなり多く、重複している部分はありましたが、違ったものが数多くあったことは、座談会が活発にできた印象でした。

・全体として男性と女性の目線が違っていると思いました。男性は公園や道路などの公共施設が整っていることに向いていて、女性は人の交流や街の雰囲気等を感じているように思えました。

・この街に住み続けるとしたら、どこがどうなって、何が変わるのかわればなど、対話を続ければ一人ひとりの考えが深まると思います。

自治会連合会 松上

横山を主にした話から、相模原市全体へと広がっていき、自分の住む足元の地域がどうであるかは、市全体を表すのではないかと思います。横山地区の良い点、道路が広く区画整理等されているところが多く、戸建て中心の穏やかな住宅地です。そのせいもあるのか、近隣同士との関わりが希薄になりつつあるのではないかと、というのが難点のように感じました。自治会連合会の方曰く、自治会加入離れが加速しつつあり、数十年後には自治会全体の存続が危ぶまれている、と。総じて、根本的には、やはり1人ひとりが地域とどう関わっていくのか？祭りや行事等、楽しんで参加していけるのか？等も、地道な地域活性化へと繋がるのではないかと個人的な感想を持ちました。

館報編集委員 太田

横山のある中央区は自治会の加入率が相模原で一番低くて40.29%(令和7年)で既に50%をきっています。自治会解散の地域が年々増えている昨今、どのように現状を変えていくのかは大きな課題です。

「住民による自主参加、自主企画、自主運営の原則にたった自発的なコミュニティ作り」をしている武蔵野市のような運営に、何か参考になるものがあるかもしれないです。

館報編集委員 高橋

横山の良い所、課題、未来について、改めて考える良い機会でした。「社協」としての立場での発想はあまり出せなかったが、一般的に感じている事をあげさせてもらいました。

これからもっと広い分野の人に意見を聞くと良いと思います。

社会福祉協議会 井上

横山の未来に幸あれ！

